



なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

ほうふし めいしよ きゅうせき 防府市の名所・旧跡めぐり③

みたじりおふなぐらあと 三田尻御船蔵跡

しよざいち やまぐちけんほうふしみたじりさんちようめ
所在地：山口県防府市三田尻三丁目



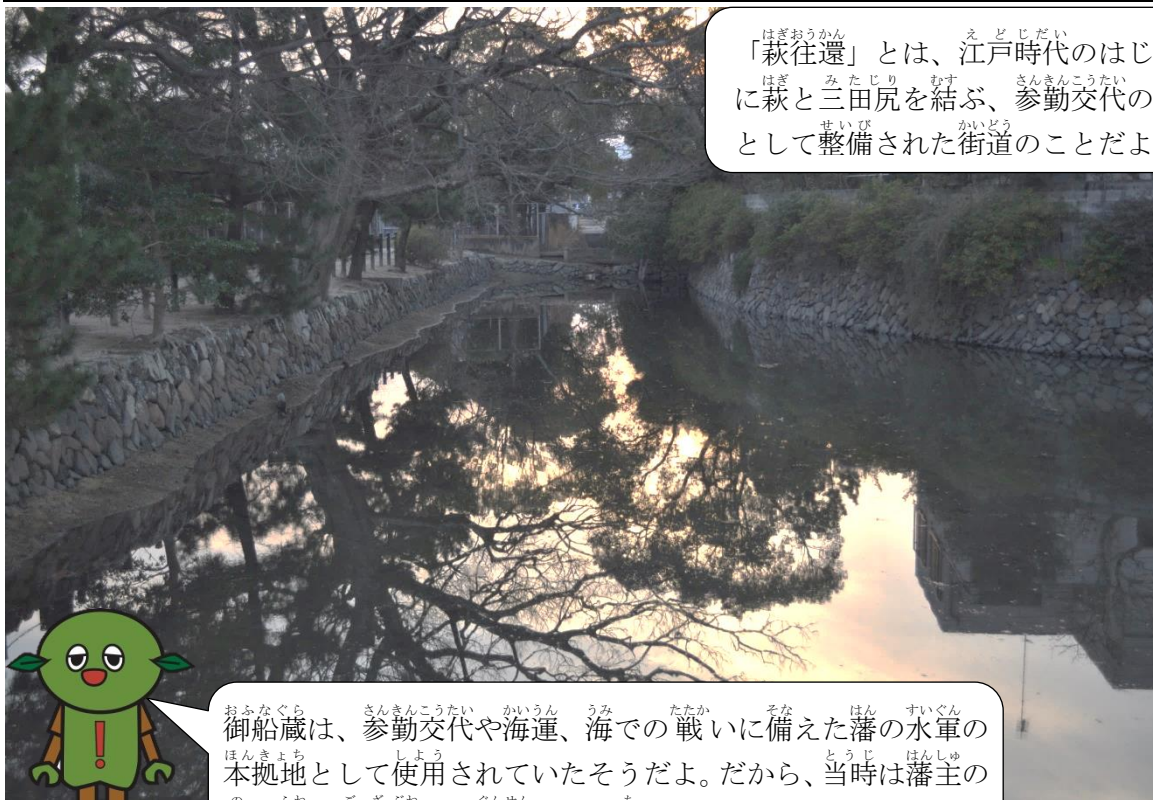
みたじりおふなぐらは、江戸時代(1611年)に長州藩がこの地に設置しました。防府市三田尻は、萩城下町と瀬戸内海を結ぶ「萩往還」の終点で、江戸時代中頃まで、参勤交代は、ここから船出していました。

1688年以降、御船蔵周辺の開作(干拓)が進み、次第に陸地に囲まれ、海へは一本の水路を残すのみとなりました。明治維新後、御船蔵は廃止され、現在では、ほとんどが埋め立てられ、堀と水路の一部を残すのみとなっています。

みたじりおふなぐらせつち
三田尻御船蔵設置 (1611年)

飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代	明治	大正	昭和	平成
------	------	------	------	------	--------	------	----	----	----	----

「萩往還」とは、江戸時代のはじめに萩と三田尻を結ぶ、参勤交代の道として整備された街道のことだよ。



おふなぐらは、参勤交代や海運、海での戦いに備えた藩の水軍の本拠地として使用されていたそうだよ。だから、当時は藩主の乗る船(御座船)や軍船がこの地にあったんだね。

